

8-1-2 道路会社業務検討WG (NEXCO)

1. 道路会社業務検討WGの概要

(1) 道路会社業務検討WGの活動目的

高速道路会社との意見交換を実効化、具体化するために設置された。双方の実務者からなる実務者検討会の運営を主な活動としている。

(2) WGの構成

WGは東日本・中日本・西日本の各高速道会社業務検討チームで構成され、各チームは本部委員あるいは支部委員で構成されている。

各高速道路会社との実務者検討会は、協会側メンバーと道路会社側メンバーで構成され、業務に関する具体的課題解決に取り組んでいる。

2. 主な活動の記録

過去の意見交換会やアンケート調査から抽出した施工管理、大規模更新・修繕、設計、積算などの課題に取り組んだ。

設計や施工管理員の人員不足に加え、働き方改革の影響もあってNEXCO業務の効率的な執行や、より少ない人員での業務の安定した遂行が大きな課題となっている。

(1) 東日本高速道路会社

3回の実務者検討会を開催した。

a) 施工管理員育成

新規の施工管理員の育成についてNEXCO職員向け研修への参加を実現していただいた(3会社共通)。

b) 橋梁基本設計

特に橋梁の基本設計の内容についてNEXCO3会社と建コン協で調整し、付属物設計の簡略化など合意に至った(3会社共通)。

c) 遠隔臨場

遠隔臨場実施要領を策定していただいた(3会社共通)。

d) 働き方改革

ウィークリースタンスはかなり遵守されるようになった(3会社共通)。

e) 設計ミスの顕在化

数年前の設計ミスが工事実施段階で顕在化し、NEXCO事業の進捗に大きな影響を与える事

象が複数発生しており、建コン協としても設計ミスの撲滅に各社対応している(3会社共通)。

(2) 中日本高速道路会社

3回の実務者検討会を開催した。

a) 耐震補強設計

依然として不調不落が多くNEXCO業務に支障をきたす可能性があるため、改善について議論を継続中。

b) 施工管理業務

将来的な人員不足の昂進、および建設業界の働き方改革の本格化に対応するため業務簡略化や書類削減など業務効率化の推進について議論を進めている(3会社共通)。

c) 照査業務

設計ミスを減らすための施策として、設計行為完了後設計会社のチェック期間およびNEXCO側のチェック期間併せて2か月を確保し、その後に納品する制度を導入していただいた(他の2社も類似の措置を導入)。

(3) 西日本高速道路会社

3回の実務者検討会とその準備会を開催した。

a) 貸与資料の迅速化

設計業務開始後速やかに設計に必要な資料を設計会社宛に送付することを実施していただいた(3会社共通)。

b) 複雑な施工計画や交通規制計画への対応

改築や拡幅など高速道路現道との近接施工が多く、緻密な施工計画等が要求されているため、施工計画の要求内容の明確化や、交通規制計画の分離発注などを議論した。

3. 次年度の活動について

次年度は、設計ミスを減らすための2か月の照査期間の有効性の検証を行うとともに、更なる設計ミスの低減策について議論を進める。また、耐震補強でのアンカーの鉄筋当たりなど、設計ミスではないが現場で困っている問題への対処方法も検討する。施工管理員については特に今後の管理技術者の不足が懸念されており、アンケート調査を踏まえて対策を検討する。

(道路会社業務検討WG(NEXCO)WG長 鈴木 卓)